

100連載100回、思いは変わらず

運送業界の健康支援を生きがいに



今回が100回目となった本紙での連載。思いもしていなかったこのロングランに、不思議と9年前の自分がオーバーラップしてきます。連載スタート時のその時の思いを書き綴り、見出しとして掲げたのが、本連載のタイトル「健康支援を生きがいに」です。そして9年前も今もその思いが変わっていないことに、私自身がむしろ不思議な気さへします。

よく関係者から、「テーマが毎回大変でしょう」と言われますが、テーマ設定に困ったことがありません。むしろ、「あれもこれも伝えたい」と取り上げたいテーマがあまり過ぎて、その優先順位に困るくらいです。私の講演も時々、欲張りの過ぎて時間が足りなくなってしまうことがあるのですが、これは性格でしょうか(笑)。数多くの感謝

と共に、今後も鮮度と実践的な情報提供にこだわり、健康情報をお伝えできればと思います。

◆第8回OCHISセミナー

◆健康起因事故防止対策を考える

そこで今回、私が優先的にお知らせしたいのが、いよいよ18日(金)に迫った第8回OCHISセミナー(大阪大学中之島センター)です。「急増する健康起因事故」、この対策をぜひ一緒に考えませんか? というのが今回のメインテーマです。

ドライバーの高齢化による病気の増加、運輸を取り巻く産業構造の複雑化など、その対策の難しさが浮上してきています。

国土交通省でも、関越自動車道でのSASドライバーの大事

故などを踏まえ、SAS、過労を含んだ「健康起因事故」対策を重点施策として掲げ、事故防止対策の新たな体系をつくりだそうとしています。

◆最新情報をいち早く

今回は、「高速ツアーバス等の過労運転防止のための検討会」座長の酒井一博氏が、「適切な運行管理」こそが最善の健康管理へ急増する健康起因事故対策を防ぐ主役は誰か」と題して講演いただき、国土交通省の最新情報をいち早く、分かりやすくお話しいただくことになっていきます。また、「健康起因事故を誘発する、その病気のメカニズム」と題して、大阪大学第一内科で長く循環器疾患治療に関わっていた当法人理事長の武田裕(大阪大学名誉教授・元病院長補佐)が、健康起因事故原因の6割を占める脳・心臓疾患などについて講演します。

私は「まず押さえるべき方策は何か」などといった、具体的な提案を致します。全国からのご参加をお待ち致しております。詳細は「OCHIS」セミナー・講演」で検索ください。

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク(OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL : 06-6965-3666
FAX : 06-6965-5261
東京オフィス TEL : 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP http://sas.ochis-net.jp/

(次回は11月11日に掲載)